

### ブロック学生委員会 第1回ブロック学生委員会

第11号  
(通算644号)

#### 取り組み概要

第1回ブロック学生委員会  
日時：2026/03/03  
会場：オンライン(Zoom)

#### 出席者

学生事務局：8名  
会員：11会員24名  
(25年/26年正副学生委員長)

[ブロック]

来年度に向けたスタートダッシュ

#### POINT.1

#### 会員による活動報告

宮崎大学生協  
廃油キャンドルのすすめ  
2025年10月30日(木)

**現状(きっかけ)**  
・廃油問題に対する関心が高いが、日常に結びつけて生活している人が少ない  
・廃油に対する意識が低い

**目的**  
・大学で生活しているにも関わらず環境問題に取り組むことができることを知ってもらおう  
・廃油に対する意識をもってもらおう  
・廃油問題への関心を高めてもらい、廃油に悩まされるようになってもらう

**取り組みの内容**  
・廃油からでも簡単に使用してキャンドルづくりを行う。  
・チラシなどを配布して、廃油で何ができるのかやその分別の方法などを紹介する。  
・キャンドルが実際に燃焼している様子を見せる

**工夫したことなどあれば**  
・環境と廃油をより日常的に考えられるような視覚や資料を準備したこと  
・10分以内と短縮されたこと

**結果・やってみて思ったこと(ひとこと)**  
・新卒、OG以外で交流型の会合をするのは初めてだったので感銘・満足に繋がった。  
・25名に参加してもらい、楽しんで学んでもらうことができた。



各大学が実施している企画や取り組みについて、背景や目的、工夫した点などを含めて各会員3分以内で共有する時間を作った。他大学の特色ある活動を知る中で、「こういうやり方もあるのか」といった**新たな気づき**が生まれ、防災企画など自大学に取り入れたい具体的なアイデアも挙がった。また、**他大学も試行錯誤しながら取り組んでいる様子を知ることで、自分たちの活動への前向きな気持ちやモチベーションの向上にもつながった**。短い時間でも言語化して伝え合うことで、学びが広がる有意義な時間となった。各大学に対する質問やいいねメッセージをフォームで回収し、各会員に後日送付した。

#### POINT.2

#### 引継ぎの時間

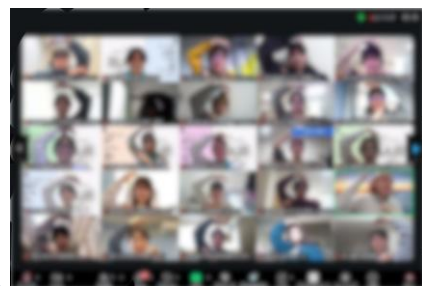
新旧の正副委員長が揃って参加したことで、引き継ぐ側・引き継がれる側の双方が同じ場で話すことができ、**引継ぎに対する考え方や意識をすり合わせる**ことができた。意見交換の中では、「後輩が何を知りたいのかを意識すること」や「成功だけでなく失敗もそのまま伝えること」の大切さが共有された。また、引継ぎ後も困ったときには先輩に相談できる関係をつくっておくことの重要性にも気づくことができた。単なる作業の引き渡しではなく、人や想いをつなぐ引継ぎのあり方を考える機会となった。

#### 引継ぎについて



#### POINT.3

#### 九州ブロック全体での視点を大切に



**理事会・総(代)会やリリパック回収**について、自大学の現状だけでなく、九州ブロック全体の状況も踏まえながら今後の進め方を考えた。**各大学の取り組み状況や悩みを持ち寄ることで、「どの大学にも共通している課題」や「工夫によって改善できそうな点」が見えてきた**。また、全国の事例も参考にすることで、自分たちの位置づけを客観的に捉えながら議論を深めることができた。正副委員長もブロック学生委員の一員として考えることで視野が広がり、九州ブロックとしての今後の活動のヒントを得る時間となった。

つながる元気、ときめきキャンパス。



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

ご質問や[QBK NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください!  
ブロック学生事務局 [竹元七夕]  
Takemoto.Nayu@univ.coop

